

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 加藤 愛一郎

### 平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

本年度は、テーマ『チーム吉小P T A ともに愛校心を育もう!!』を掲げ、昨年同様の活動を行うのではなく、工夫をし会員同士のつながりを深めることで、全員でP T A活動を盛り立てようと努めてきた。例えば、毎月15日の愛の一声運動を運動会や持久走大会の朝に行って子どもたちを励ましたり、ふれあい協力員の読み聞かせの活動にP T A会長が参加したりと、今までの活動を広げる活動を行ってきた。

各部の活動は以下の通りだが、それぞれの活動にチーム吉小としての、みんなで支え合う気持ちが溢れていた。

### ○各部の活動

成人教育部①P T A新聞の発行②三校合同講演会③P T Aのつどい実践発表参加  
生活指導部①愛の一声運動②「かけこみ110番の家」との連携③生活安全標語の募集  
と立て看板の設置④全体夏休み巡回パトロール⑤特別パトロール⑥地区内パ  
トロール⑦不審者出沒に伴うパトロール  
環境整備部①親子奉仕作業②校内美化活動③古紙回収  
体育保健部①P T Aスポーツ②三校合同球技大会③運動会への協力参加  
母親委員会①ベルマーク運動②親子学習会③給食試食会④会報「あすなる」発行⑤市P  
連母親委員会参加⑥古紙回収に参加

### 取り組みの効果

1. ④ 具体的な効果一
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

各部が責任を持って計画をし、他の部にも声を掛けて、ひとつひとつの活動を協力・協働して実施することができた。毎月の役員会では、新たに「近況報告」の場を設けたり、役員の名札を作ったりして、親近感を高める活動も行った。全役員で共通理解を進める中で、役員会の出席率も常に9割を越えており、意欲的に活動を進めることができた。

今年度は、三校合同講演会主催校として、また、富士市P T Aのつどいの発表校として、先を見通して魅力的な講師を依頼したり、多くの会員が参加できるP T Aのつどいの発表の仕方を考えたりすることができた。子どもたちの健全育成につながるように、役員、教職員、P T A会員、学校関係者、が連携することの大切さを確認することができた。

新1年生の入学説明会では、活動の活性化を目指して、P T A活動への協力を呼び掛けた。

声を掛け合うことを継続することを通して、課題に誠実に取り組み、明るく元気な P T A活動を実施することができ、子どもたちにより影響を与えることができた。

## 平成27年度 PTA 活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校

会長名 高田 治也

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（3校合同事業の内容等も記入）  
企画委員会…三校合同事業「プロのシンガーと楽しく歌おう！踊ろう！そして聞いてみよう！」(Jay&TNC Brightness Singers)を当番校として主催

成人教育部…三校合同事業への協力

年間3回の新聞「いずみ」の発行

生活指導部…交通指導・あいさつ運動「ふれあいの日」を実施

運動会への協力

「かけこみ110番」宅の確認と看板取り替え、地図の修正

母親委員会…1年生給食参観および給食試食会

持久走大会への協力、3校合同事業への協力

卒業生に送るコサージュの準備

環境整備部…年間2回の親子奉仕作業および古紙アルミ缶回収

体育保健部…運動会への協力

親子レクリエーション「親子で今小ナイトウォーク」の実施

取り組みの効果

1. ㊦
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・三校合同事業では、200名を超える参加があり、親子で楽しい時間を過ごすことができた。また、その他の多くの行事でも、親子の参加を基本とし、親子のふれあいがあり、いつもとは少し違う休日の過ごし方ができた。
- ・奉仕作業では、多くの参加を得て、親が額に汗して一生懸命活動している様子を見て、子どもたちの活動の様子がいつもよりも真剣であった。
- ・昨年度に引き続き行った「親子で今小ナイトウォーク」では、より多くの役員の方が準備や運営に関わることができた。また、昨年度にもまして多くの親子での参加を得ることができた。
- ・奉仕活動や古紙回収で、安全面に対する配慮をしたため、事故なく活動できた。
- ・PTA新聞の発行を年間3回とし、より読みやすい工夫をした。

—反省点—

- ・同じ時期に行事が重なり、役員負担が大きくなる場合があった。
- ・三校合同事業への他校からの参加が少なかったことが残念であった。

—改善案—

- ・地区等の行事となるべく重ならないように情報を集めて、計画していく。
- ・行事への参加を呼びかける際、早めに募集しPRすることで、参加者の広がりを更に広めたい。

## 平成27年度 PTA活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校

会長名 遠藤祐佐

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

【テーマ】：築こう絆 つなげよう輪

『生活指導部』①入学おめでとうキャンペーンの実施、②1年生交通教室への参加協力、③4年生交通教室への参加協力、④6年生交通安全を語る会への参加協力、⑤新入学児童保護者説明会にて街頭指導実施説明、⑥不審者出没に伴うパトロール、⑦かけこみ110番の家確認

『成人教育部』①PTA会報の発行（2回）、②単P講演会開催（科学実験を実施）、③三校合同講演会（今年度は吉原小学校が当番校）、④PTAのつどい壁新聞作成

『体育保健部』救急救命法講座開催、②三校合同球技大会（今年度は伝法小学校が当番校）、③ソフトバレーボール大会の開催、④運動会・持久走大会での駐車場監視

『環境整備部』①親子奉仕作業実施（2回）、②古紙回収実施（2回）

『母親研修部』①給食試食会開催、②コサージュづくり、③持久走記録会配布ラムネ袋詰め・配布

『総務部』伝法地区夏まつり出店協力、②伝法地区文化祭出店協力

取り組みの効果

1.  有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを－反省点－に記入）

－具体的な効果－

※毎月の総務会では、昨年作成したフォーマットを継続して使用し、わかりやすい資料作りができたとともに、議事録の作成により全役員共通の理解が出来た。

※「出来る時に、出来る人が、出来る事を」の精神で、役員全員での協力体制がとれ、不審者対応においては、地区役員を巻き込んだパトロールが出来た。

※昨年市にて開催した入学おめでとうキャンペーンを、今年度はPTA主体で開催できた。

※単P講演会においては、成人教育部役員自らが実験を開催することにより、児童にとって、科学実験がより身近に感じられたと思う。

－反省点－

※PTAと子ども会を混同している保護者がいるため、次年度役員募集の際に混乱が生じた。

－改善点－

※継続して行っている古紙回収において、回収方法や周知連絡方法を変えていかないと、増加が見込めないと思われる。

※球技大会において、三校でソフトバレーなので、単Pとしてはソフトバレー以外の球技の検討も必要かもしれない。

※町内毎に児童数差が大きく、地区役員決めに苦労する町内がある。合併等町内と話し合っていく必要性がある。

一年間ご協力ありがとうございました。この資料は次年度活動に向け有効的に

活用させていただきます。

# 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 神戸小学校

会長名

藤田芳晃

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

## 1.PTA 活動を通じた会員間のコミュニケーション充実

親子ふれあいスポーツ大会、親子奉仕作業、神戸地区夏祭り、  
神戸地区文化祭、給食試食会、各種定例会議、懇親会 など

## 2.PTA 活動を通じた神戸小学校への貢献

親子奉仕作業、リサイクル活動、交通安全活動、防犯パトロール、  
自由プール監視協力、運動会協力(準備・片づけ・巡視他) など

## 3.神戸地区各種行事への積極的な協力

三世代交流グランドゴルフ大会、三世代交流カップスタッキング大会、  
神戸地区夏祭り、神戸地区区民体育祭、神戸地区文化祭、県下一斉補導、  
防犯パトロール、神戸地区まちづくり行動計画策定会議 など

取り組みの効果

- ①. 有            2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）  
—具体的な効果—

## 1.PTA 活動を通じた会員間のコミュニケーション充実

各種レクリエーション活動や奉仕活動等を通じ、親同士だけでなく先生方との接触機会を持つことで、会員同士が気軽に会話が出来るような関係が構築できたと思う。

同じ地区に居を構える同世代の住人同士が PTA 活動を通じ互いに顔見知りになっておくことは、地域防災・防犯という観点からも非常に重要であり、安心・安全なまちづくり実現の礎となるのではないかと思う。

また、各種活動の実行にあたり、神戸小の先生方が非常に積極的に、真摯に協力して下さったことは一父兄として本当に有難いことだと頭が下がる思いであり、それを目の当たりにしている子供達にも自然と先生方への感謝の念、親愛の念、尊敬の念が芽生えているものと確信している。

## 2.PTA 活動を通じた神戸小学校への貢献

親子奉仕活動やリサイクル活動においては、親だけでなく子供達も活動に参加する事で小学校の環境改善活動を直接体験させることが出来た。

また、小規模校ということもあり自由プール監視協力や運動会での巡視協力等、地味ではあるが先生方のご負担軽減に多少なりとも貢献することができたのではないかと思う。

### 3.神戸地区各種行事への積極的な協力

PTA 活動による横の関係だけでなく、子供や祖父母世代との縦の交流を通じ地域の絆がより強固なものになっていくと思う。三世代交流事業の継続には特に小学生・中学生とその親の協力が不可欠であり、意識的に参加するよう心掛けた。

また、神戸地区夏祭りや文化祭においては各専門部から多くの模擬店を出店することで地域行事の盛り上げに協力できたと思う。

#### －反省点－

新しい行事に取り組んでみたいとの思いはあったが、任期一年の中では従来行事をこなすだけでも手一杯であった。本来ならば新鮮な行事を企画・実行できれば良かったのだが、正直自分にそこまでの力量はなかったと痛感している。

#### －改善案－

改善案というより反省の延長線上になってしまうが、各行事への感想・改善案や新行事のアイデアなどを役員だけでなく一般会員や子供達から意見を募ってみても良かったかもしれない。実現の可否はともかく、意外なアイデアが掘り起こせたのではないかな。

過去のPTAのOB・OGの意見を聞けるしくみがあると運営が楽になるのではないかな。ただし、単なる小姑の小言や時代錯誤の懐古主義になってしまっただけでは本末転倒であり、あくまでも現職のPTA会長の運営方針が優先されるべきであるという点に留意は必要。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校 会長名 西川 香苗

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・成人教育部…P T Aだより「松籟」、P T A新聞「松籟」の発行
- ・保健体育部…小中合同レクリエーション大会、運動会・マラソン大会への協力、救急蘇生講習会、夏休み自由プール立ち会い協力
- ・環境整備部…年2回のアルミ缶・古紙回収、夏休み奉仕作業
- ・生活指導部…交通安全講習会、1.4年交通教室参加、年7回見回りパトロール、年5回交通安全指導と挨拶運動(内4回は小中合同)、標語看板と足型プレートの製作、交通安全リーダーと語る会への参加
- ・母親運営部…交通安全リーダーと語る会への参加、給食試食会、地区文化祭にて「らがきせんべい」の出店、卒業式6年生のコサージュ作成

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・一つ一つの行事で、親子・先生方との団結力が確認できた
- ・地区文化祭では、地域の方々との交流も楽しむことができた
- ・元吉原は、地域の方々に愛されていると再確認できた

—反省点—

—改善案—

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校

会長名 稲垣智巳

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 古紙回収・アルミ缶回収
- ② 環境美化
- ③ 通学区危険箇所洗出しシート・安全会加入・親子集団一斉下校・安全の日一斉下校引率について
- ④ 救命講習会
- ⑤ 球技大会
- ⑥ 防災訓練・教室

取り組みの効果

1. ⑥ 2.無（なぜ効果が出なかったのかを－反省点－に記入）

—具体的な効果—

- ① P T A会員だけでなく、地域住民に回収の案内を配り協力をお願いした。結果多くの方のご協力を得られた。
- ② まちづくり協議会を通じ、協力を依頼。まちづくり協議会の役員や児童の祖父母の皆様が参加してくれました。
- ③ 駐在所・まちづくり協議会安管協の参加を頂き、役員・保護者が一体となった取り組みができました。
- ④ 消防職員により児童・保護者の救命講習会を行い参考になった。継続的な講習会の開催が必要と考え、地域の方の参加も検討していきたい。
- ⑤ 球技大会では、ペタンクを開催し、上級生・下級生の混合チームとして開催し、大変に盛り上がりました。
- ⑥ 本校では、9月・12月に一斉下校時と合わせ、各町内の公会堂に集合し、全学年と区長以下の役員と防災訓練を実施している。今回始めて、富士市地域防災士と富士市防災危機管理課に協力を要請し、浮島地区親子防災教室を開催し、まちづくり協議会の役員と児童・保護者が参加し、バケツリレー等を行った。

— 反省点 —

なし

— 改善点 —

なし

平成27年度 P T A活動最終報告（提出期限3月10日）

学校名 富士市立須津小学校

会長名 中島 真二

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三枚合同事業の内容等も記入）

- －昨年度より古紙回収の店舗をポテト・ファミリーマート・ハック・マックスバリュー・セブンイレブン2店舗になり回収量が増えた

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを一反省点づく記入）

－具体的な効果－

回収店舗も昨年度から増え回収方法も今までは軽トラックで回収していましたが古紙回収業者のパッカー車をお借りして行った為時間も短縮され役員の負担も減った。

－反省点－

町内の古紙回収が毎週土曜日に有るため町内からの回収量が減った地区があった

－改善案－

各地区の回収方法を見直す必要がある

## 平成27年度 P T A 活動最終報告

学校名 吉永第一小学校

会長名 鈴木 達也

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容

- A. 穆清新聞発行・壁新聞作成・出前講座
- B. 応急救護講習会・親子ふれあいレクリエーション
- C. 古紙回収・環境整備作業
- D. 交通安全旗振り・児童交通安全標語選考、掲示
- E. 絵本の読み聞かせ・給食試食会

取り組みの効果

- 1. ①
- 2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

- A. 卒業生でもある造形作家に講師をお願いできた。大人も子供も五感を使い、夢中になって作品作りに取り組むことができた。
- B. A E Dの使用法・胸骨圧迫・応急救護について詳しく知ることができ、実際に体験することができた。参加者が積極的に質問をし、有意義な時間となった。
- C. 古紙回収で得た収益金で、子供たちのために必要なものを購入することができた。
- D. 危険箇所を見直し、旗振りの立ち位置について考え直すことができた。
- E. 朝の時間の読み聞かせは、子供たちに喜んでもらうことができた。

—反省点—

- A. 新聞社や学校とのやり取りに追われ、発行までの期間が短くなってしまった。
- B. 応急救護講習会は、児童にも見学してもらえる場としていきたい。
- C. 各団体と古紙回収日が近かったため回収量が少なかった。
- D. 6年生が行った交通安全を語る会は良いものだったので、参加者を増やす工夫をしたい。

—改善案—

- A. 引き継ぎ資料を作成し、計画的に新聞発行ができるようにする。
- C. 今年度は、安定した回収量を確保できた。来年度も平均した回収量を確保するために、他の団体と打ち合わせをしたい。  
環境整備作業では、当日の参加者の増減に対応できるようにしたい。

一年間ご協力ありがとうございました。この資料は次年度活動に向け有効的に活用させていただきます。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 吉永第二小学校 会長名 金森 直城

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・成人教育部…PTA誌「大樹」53号作成、学校新聞作成、バルーン教室開催
- ・体育保健部…救命士によるAED講習、運動会及びマラソン大会の安全確保
- ・環境整備部…PTAリサイクル活動（年5回）、親子学校クリーン作戦
- ・生活指導部…交通安全教室（1年・4年）補助、地域の安全巡視
- ・母親委員会…給食試食会、読み語りの会、卒業生コサージュ準備
- ・その他…パッカー車デザインのペイント協力、朝のあいさつ運動の呼びかけ・実施  
地区合併案の話し合い、PTA活動内容の見直し

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・どの活動も滞りなく行うことができた。今年度はリサイクル活動を年5回実施した。活動は大変だったが、それなりの収益をあげることができた。子どもたちのために役立てたい。
- ・朝のあいさつ運動を実施し、地域の協力も得ながら、子どもたちの安全を見守ることができた。
- ・子どもと世帯数の減少に伴い、役員選出が困難な地区が出てきたため、今後、少ない地区を合併するか、学年ごとに選出するか等、話し合いをした。また、年間の活動内容で改善すべき点がないかどうか見直しを行った。

—反省点—

- ・従来 of 行事をこなすのに精一杯になってしまい、新しい行事を取り入れたいと思っていたが、話し合いすらできなかった。
- ・地区の合併について話し合い、決定をする際、もっと念入りに計画を立てて進めるべきだったと反省している。

—改善案—

- ・現在のPTA活動の内容を見直していき、改善し、無くせるものは廃止し、かわりにもっとたくさんの会員が、親子で楽しく進んで参加できる行事を、少しずつでも取り入れていけたら…と思う。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校 会長名 楠 直哉

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- 学校美化活動の実践（9月：校庭等外回りの美化作業、  
11月：校舎内の美化活動(教室高所、トイレ 等)

- P T Aバザーの開催（日用品バザーの実施、チョコバナナ・くじ等の店を開催）

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- 子どもたちが学習している校庭外周りや校舎内を、P T A 会員が清掃することで、子どもたちの学校での生活環境について関心をもつことができた。また、清掃に参加した子どもたちは、親や地域の方と一緒に活動することで、P T A 活動に対して感謝の気持ちをもつことができた。

- 日用品バザーと店を体育館内で行い、より多くの P T A 会員がバザーに参加することができた。P T A 活動に参加する機会をもつことで、P T A 活動に対する理解を深めることができた。

—反省点—

- 11月に行われる、校舎内美化活動への参加者が少なくなっている。学級によって参加者数にばらつきがある。2回に分けることで、参加が少なくなっているのではないかと考えられる。

- バザーの商品の売れ行きに偏りがある。バザーに出したいものと購入したいものに差があり、一部の商品が売れ残ってしまってその後の扱いに困った。

—改善案—

- 校内美化活動を年1回にする。校舎外の活動に加えて、校舎内の清掃を行う形に変更する。校舎内は子どもたちによる清掃が行き届かない「トイレ」に絞って清掃を行う。

- バザーの商品を変更する。体操着やハーフパンツの古着や、「みどりの学校」で使用するジャージや寝袋等を扱い、小学校で使用するものなどリサイクルで有効に活用できる物を取り扱うようにする。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長名 小山 光成

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

### 【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年2回) … P T A活動を取材し、写真と記事を掲載
- ・ 3校合同 P T A教育講演会の実施…『子どもが育つ「わらい」と「ほめ達」の力』の演題で講演

### 【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A総会時に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年2回ずつ当番制で登校の見守りを行った。
- ・ かけこみ110番の家探し … 3・4年生親子参加で、地域の110番の家探し

### 【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回)、奉仕作業(年2回)

### 【体育保健部】

- ・ ふれあいスポーツ大会 … P T A会員と教職員とのふれあいを目的に『ビーチバレーボール大会』を開催

### 【母親委員会】

- ・ 新茶を楽しむ会 … 大淵地区で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に児童がたしなむ。
- ・ 給食試食会 … 保護者を対象に、学校給食の様子を体験する。

### 取り組みの効果

1.  有      2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### －具体的な効果－

### 【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、P T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。また、教育講演会では、『子どもが育つ「わらい」と「ほめ達」の力』の演題のもと、3校合わせて100名程の参加者があった。3校が共通の話題で体を動かしたり、交流したりすることができた。

### 【生活指導部】

- ・ P T A総会時に旗振り講習会を行い、P T A会員全員が年2回ずつ当番制で登校の見守りを行った。また、3・4年生親子参加で、地域の110番の家を探し、いざというときのための意識付けを行うことができた。

### 【環境整備部】

- ・ 古紙回収では、会員の家庭だけでなく地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができたため、P T A活動費に充てることができた。奉仕作業2回目は、校舎内トイレ清掃を重点的に行い、とてもきれいになり、子どもたちの生活環境が改善された。

### 【体育保健部】

- ・ P T A会員と教職員の多数の参加があり、ふれあいを深めることができた。

### 【母親委員会】

- ・ 地域で栽培が盛んなお茶を新茶の時期に子どもたちに提供した。正しいお茶の入れ方の手本を示しながら飲んでもらうことで、地域特産のお茶について理解を深めることができた。給食試食会では、子どもたちの配膳や食事の様子を見学したり、給食の意義を栄養士から聞いていただいたりしたことで、保護者の学校給食への理解を深めることができた。

#### －反省点－

- ふれあいスポーツ大会の参加者を保護者と教職員にし、種目をビーチバレーボールに変えたため、昨年以上に保護者の参加が増え盛り上がった。
- ▽教育講演会や奉仕作業には多くの保護者が参加したが、会員数に比べるともっと多くの方が参加できるような方法が必要であると感じる。

#### －改善案－

- ◇教育講演会の開催日程を早めに連絡することと、演題を保護者のニーズに合ったものにしていく必要を感じる。
- ◇奉仕作業の開催日や活動内容を早めに知らせることで、多くの保護者の参加が必要であることをアピールする等の工夫が必要である。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 渡邊 真司

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ◇環境整備部 P T A奉仕作業（5月・8月）・リサイクル活動（6月・10月・1月）
- ◇生活指導部 通学路の確認 危険箇所マップの作成 かけこみ110番の家の確認
- ◇体育保健部 ふれあいレクリエーション大会（専門部対抗グランドゴルフ大会）
- ◇成人教育部 P T A研修会 P T A新聞「こぶし」の発行
- ◇母親委員会 給食試食会 持久走記録会終了後の児童に温かいココアの提供
- ◇三校合同 三校連絡会 三校合同講演会

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

○どのイベントにも、皆さん積極的に参加していただけたと思います。

－反省点－

○特にありません。

－改善案－

○特にありません。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士第一小学校 会長名 向笠 美和

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・ 防災キャンプ
- ・ 親子と教師のつどい「みんなでいっしょ」
- ・ 資源回収
  
- ・ 三校合同事業は今年度より中止。

取り組みの効果

1. ④            2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 親子と教師のつどい「みんなでいっしょ」では、各専門部による特色ある企画、バザーなどには、年々参加者が増えている。また、土曜日の参観後であり、参加しやすく、特に他の行事よりお父さんの参加が多かった。
- ・ 地元商店街、地域の企業にも積極的に事業協力をお願いし、地域のあらたな発見、結びつきの大切さを認識することが出来た。

—反省点—

- ・ 防災キャンプは、今年度の新規事業であり、企画、募集、案内、役員の動員など改善点は多い。しかし、災害が他人事ではない今、この活動は重要であると思う。

—改善案—

- ・ データとして記録に残し、次期の役員にわかりやすくする。
- ・ 地域などの行事を考えて、子どもたちが参加しやすい計画をし、活動をしていきたいと思えます。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校

会長名 山口和男

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ① PTA 全世帯交代参加の旗振り活動
- ② 地区保護者と通学路における危険個所見直しと改善
- ③ PTA 新聞「けやきひろば」を年3回発行、「けやきブログ」を常時更新
- ④ 資源回収を年3回開催
- ⑤ 学校行事や地区行事への参加（体育祭、祭り、文化祭など）
- ⑥ 食育推進活動（給食試食会、通学合宿の食事作り、文化講座でエコクッキング）
- ⑦ 父親委員主催行事（運動会プログラム「綱引き」、通学路ウォークラリー行事のカレーライス作り、年末の餅つき大会）

取り組みの効果

1. 有
  2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- ① 有 通学時の安全確保
- ② 有 通学路の変更実施。現在の通学路になっている信号のない横断歩道の使用をやめ、信号のある横断歩道へ通学路のルートを変更。グリーンベルトも新たに設置。
- ③ 有 PTA 活動の周知により PTA イベントの参加率アップ
- ④ 有 収益による教育環境の整備
- ⑤ 有 PTA、学校、地域の連携により、町全体の活性化
- ⑥ 有 親子参加型の食育活動
- ⑦ 有 父親の積極的な行事参加による学校教育や環境への関心を向上

—改善案—

通学路における危険個所の随時確認、道路維持課や警察署へは改善要望書提出  
済だが対応のない現状における仮対策

- ・絶えることのない進入禁止道路への道路標示無視の車輛
- ・狭い道路で通学児童が用水路に落ちる事故

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 田子浦小学校 会長名 柿並 光江

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

1. 小中合同教育講演会・・・10月25日実施。  
今年度は中学担当。講演会ではなく、演奏会として富士市立高校吹奏楽部の演奏会を実施。田子浦中学校吹奏楽部も参加した。
2. 田子浦っ子祭・・・・・・・・11月7日に実施。P T A会員並びに先生方、地域の各種団体の方々にご協力いただいた。

取り組みの効果

- ① 有 ② 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

1. に関して、例年、観客動員が難しいが、演奏会ということもあり、動員しやすかった。楽しんで参加できたと好評だった。
2. に関しては、例年参加団体が減少にあったが、地域の方々にお声掛けいただき、参加団体も十分確保できるようになった。また、中学生ボランティアが100名余参加といううれしい結果となった。子どもたちにも楽しんで参加してもらうことが出来た。

－反省点－

1. 時期と内容が難しい。
2. こちらも時期が難しい。学校だけではなく、地域の行事も視野に入れなくてはならない。

－改善案－

- 1、参加型の講演会にする。講演会に固執せず、広い視野で内容を考える。
- 2、地域との連携を図る。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校

会長名 熊王 紀夫

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・業者と協力し、アルミ缶・古紙回収の方法について話し合い、工夫した。環境整備部
- ・岩松地区の五団合同体教育講演会の協力校として、富士市出身の映画監督を迎え講演会を開催。また、会報を年3回発行し、PTA活動の広報活動を行った。

成人教育部

- ・スポーツ親睦会（ドッジビー）の開催と合わせて、体育指導員（きのいい羊達）主催の運動教室を行った。

体育保健部

- ・毎月地域あいさつ運動として、校門の前であいさつ運動を行ったり、夏休みや地域のお祭りの際、巡回指導を行ったりした。

生活指導部

- ・ベルマーク整理を行い、子どもたちの教育環境を整える手助けをしたり、卒業生に贈るコサージュを作ったりした。

母親委員会

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・地域の人たちに迷惑のかからない、スムーズな回収方法に改善することができた。

環境整備部

- ・中学生が実際に映画制作に取り組む様子を聞いたり、撮影した映画を鑑賞することによりもの作りの大変さやおもしろさをうかがい知ることができた。

成人教育部

- ・準備体操から子どもたちが楽しく活動し、笑顔あふれる親睦会が行えた。体育保健部

- ・地域の方々や子どもたちとあいさつを交わすことにより、子どもたちのことや地域の方を知ったり、声掛けしたりすることができた。

生活指導部

- ・各部に協力要請をし、役員同士が共に活動することができた。

母親委員会

—反省点—

- ・アルミ缶・古紙回収では、最終回収場となる小学校に来て作業を進める役員に女性が多く、古紙・雑誌など重いものをコンテナまで持ち上げることに苦労している。
- ・親睦会や講演会などに参加する方が固定化しており、活動の広がりを今後意識する必要を感じた。

—改善案—

- ・アルミ缶・古紙回収では、男性役員の拡大と共に、地域の方々にも協力を呼び掛けていきたい。
- ・どのような活動をしているか広報したり、今まで参加している方には周りの方を誘って参加してもらえよう企画を練っていく。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 一条 義浩

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- 5 / 8 インディアカ講習会 毎週金曜日インディアカ練習
- 8 / 23 町内対抗インディアカ大会
- 10 / 11 三校インディアカ大会（鷹岡中・天間小・鷹岡小）
- 1月 インディアカナイターリーグ
- 2月 インディアカ予選リーグ 順位決定戦

三校合同事業 10月17日（土）友近890人権あったかコンサート  
鷹岡中学校体育館

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

スポーツ事業では PTA 会員相互の親睦が深められただけでなく、地域の方々ともインディアカというスポーツを通して親しくなれた。

三校合同事業では、音楽と書道を通して、家族について、命について、生き方について見つめ直す機会となった。

—反省点—

スポーツ事業は一部の PTA 会員（約60名）の参加にとどまっているため、多くの方へ参加を呼びかけていきたい。

三校合同事業の申し込みがなかなか伸びず、再募集をかけた。授業参観に合わせて学校にポスターを多く掲示し呼びかけたが、参加人数を増やすことが今後の課題である。

—改善案—

今後はファミリーバドミントンのように、親子で楽しめるスポーツ等を盛り上げ、全体的に参加者を増やしていきたい。今年度 PTA 総会で、実際にインディアカをやってみせることで、参加者が少し増えてきたので、ファミリーバドミントンについても、より多くの方に知ってもらう工夫を考えていきたい。

三校合同事業は、来年度鷹岡小学校が担当となる。ここ数年、音楽関係のものが続いたもので、内容を吟味し違った形のイベントを模索していこうと考えている。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校

会長名 小澤 洋幸

### 平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

本年度広見小学校 PTA としまして、一部のメンバーだけが負担の大きい活動ではなく、理事メンバーと各専門部のメンバーを含めた全員で PTA 活動することを意識して取り組みました。また PTA メンバーで出来る限り地域の団体と積極的な交流と事業参加を心掛けました。三校合同事業としまして、今年は広見小学校が幹事として三校合同懇談会を設営し開催いたしました。

#### 取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

PTA として学校の事業だけでなく地域の団体との交流や事業参加することにより、学校だけでなく地域の人たちとの交流、住んでいる町内の防犯等と高齢者の現状などを、私だけでなく PTA 理事メンバーである代理出席者や参加をお願いしたメンバー皆で情報を共有することが出来ました。次年度以降の引き継ぎがしやすくなりました。

#### —反省点—

学校行事の参加というより、地域の団体からの事業参加要請が年初の予定した人数より時間の経過と共に増えてしまった。一部のメンバーから「事業の数が多い。」「年初に決めた人数以上の人員要請は厳しい。」といった意見が多く出てしまいました。広見小学校にはおやじの会といった PTA の OB 会がありますが、参加者はここ数年は減少してしまったことで PTA 理事メンバーに埋め合わせの依頼が来てしまい、結果 PTA 理事メンバー全員に迷惑をかけてしまう結果になりました。

#### —改善案—

学校行事に積極的な参加案内は問題なかったと思います。周辺団体の事業参加については検証する必要があると私個人は感じました。事業の数も多いですし、事業によっては PTA 理事メンバー全員参加になってしまう依頼。土曜日と日曜日の連続、日曜日などに終日参加要請などの時間的な拘束の問題。参加要請の事業目的自体に本当にそこにニーズがあるのか？参加者の共感が得られているのか疑問であるものもあった。過去に協賛したからや共催したことがあるからとの理由ではなく、時代や PTA の家族構成などを考えて見直すべき時に来ているのではと思いました。ただ各団体も地域の為にと考えて事業を行っているので、参加要請の人数を少なくしてもらおう要請などは数年かけて減らしてもらい、参加者が多い成功している事業であれば PTA としてこれ以上参加は難しくなっていると相手団体に伝えられる関係の構築は今後大切になると思いました。

学校側や PTA 理事メンバーとの資料のやりとりについては、現状電子データを送る手段が全くないので今後はデータを上げられる環境は大切だと思います。サイボウズライブやアジェンダシステムなど無料のものも有ると聞きますので、詳しいメンバーがいれば一度使ってみると良いかもしれないと思います。

## 平成 27 度 P T A 活動最終報告

学校名 富士市立丘小学校 会長名 伊藤 秀彦

---

平成 27 年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

◎今年度も「親子参加型」に重点を置き、親子で楽しめる活動を企画・運営をした。

○さくら祭や文化祭など、地域の行事への参加

丘地区のお祭りに参加したり、P T A 活動を P R するコーナーを設けたりして、子どもたちだけでなく、地域の人々にも楽しい活動を伝えた。

○かけこみ 110 番ウォークラリー

引き取り訓練後に、親子で通学路の危険箇所やかけこみ 110 番の家の確認をした。

○親子奉仕作業

なかよしランドや運動場周辺の清掃、草取りなどを親子と教師が協力して美化活動に取り組んだ。親が子どもに清掃の仕方やつつなどを教える姿が多く見られ、とてもほほえましかった。

○親子スポーツ教室 第 1 回「ドッジビー」 第 2 回「ダンス」

1 回目のドッジビー教室では、低学年の子どもから大人まで 100 名以上の参加があり、体育館内に歓声が響いた。子どもたちもたくさん運動をして汗をかき、運動後の親子の会話も大いに盛り上がっていた。

2 回目のダンス教室では、本校の栄養教諭を指導者に迎え、軽快なリズムに合わせて 106 名の親子が楽しくダンスをした。

○親子学習教室 「丘小サイエンス」

教師による巨大ぶんぶんゴマのデモンストレーションの後、葉脈取り、化石のレプリカ作り、空気砲、昆虫コーナー、静電気くらげ、ブーメラン作りなどの体験コーナーで 189 名の子どもと保護者が楽しく活動をした。

○親子エコクッキング教室 「エコノミヤキを作ろう」

静岡ガスのエネリオさんの協力を得て、親子でエコノミヤキに挑戦した。料理の材料のエコだけでなく、ガスを上手に使ったエコ、地産地消による運送面のガソリンエコ等、家庭でできるエコについても学ぶことができ、笑顔いっぱいのクッキング教室となった。53 名の親子が参加し、本校の家庭科室を使用した。

取り組みの効果

1.  有 2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

— 具体的な効果 —

○かけこみ 110 番ウォークラリー

・保護者も子どもと一緒に通学路を歩くことで危険箇所を確認し、登下校時の安全についての関心が高まった。

○親子スポーツ教室、親子学習教室

・昨年同様に多くの親子が活動に参加し、アンケート結果による満足度も高かつ

た。どの活動にも笑顔が多く見られ、とても楽しそうだった。

○親子奉仕作業

- ・普段の清掃では手の届かない所もとてもきれいになり、きれいな環境で運動会を実施することができた。

○親子エコクッキング教室

- ・外部講師からエコについて学ぶことができ、大変勉強になった。

ー反省点ー

今年度も親子参加型の活動を実施し、多くの方に参加していただいた。来年度も親子で楽しみながら運動したり、学習したりできる活動を継続していきたい。

ー改善案ー

- ・来年度は、高学年の子どもたちもより多く参加できるような活動内容を検討し、実施していきたい。
- ・来年度も他の分野で活躍している外部講師などを招いて、子どもたちや保護者が興味をもつような活動を展開していきたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士見台小学校 会長名 安岡 奈々

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

○ 成人教育部による「ブックフリーマーケット」

家庭にある児童用の本の中でフリーマーケットに出しても良い本を募集し、持ってきた児童には1冊につき1枚カードを渡す。ブックフリーマーケット当日に、そのカードと欲しい本を交換する。これを2日間行う。

取り組みの効果

- ①. 有            2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・いろいろな本と出会う良い機会になった。
- ・リサイクルに対する意識を高めることができた。
- ・お金をかけずに読みたい本を得ることができるので、家計が助かる。

—反省点—

- ・家庭の経済状況によって、本を持ってこれない児童に対する対応が難しかった。

—改善案—

- ・4月のPTA総会や学校便りなど、早い時期に、ブックフリーマーケットの活動を保護者に伝え、準備してもらう。  
（1人1冊は、家庭から児童用の本を持ってくることを目標としたい。）

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 柿 島 由 和

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回） 三校合同イベント（星陵中高吹奏楽部）
- ・生活指導部 交通安全街頭指導（年4回） 1年生交通安全教室 4年生自転車教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収（年2回） 6年生親子奉仕作業（雨天中止）
- ・体育保健部 運動会準備・協力 三校合同球技大会 持久走大会協力
- ・母親研修部 給食試食会 P T Aバザー主催 卒業式コサージュ
- ・父親クラブ 奉仕作業協力 親子体験教室 学校のかいだん主催
- ・その他 新しいP T A役員選出方法に則った役員説明会、役員選出会、担当専門部決め 「児童見守り隊」への参加・協力  
P T A理事会の効率化 「ケータイスマホルール研修会」の開催

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ・成人教育部 親子、老若男女全員と一緒に音楽を楽しむことができた。
- ・生活指導部 交通安全街頭指導、理事パトロールなど計画通りにできた。  
通学時の危険箇所アンケートを実施し、「危険箇所マップ」を作成した。
- ・環境整備部 奉仕作業への参加者数が増えた 古紙回収は年々回収量が減ってきてはいるが、役員・教職員が協力してできた。
- ・体育保健部 細やかな事前の注意事項伝達により、保護者のマナーの向上が見られた。
- ・母親研修部 P T Aバザーへは多くの方が来場してくださり盛況であった。  
給食試食会も好評であった。
- ・父親クラブ 学校のかいだんでは、多くの子どもたちが参加してくれた。役員・教職員、ジュニアリーダーが協力して、恐怖感のある演出ができた。
- ・その他 新役員選出会は事前の説明会などの効果があり、スムーズに新役員を決めることができた。  
「かけこみ110番の家マップ」を作成した。  
富士南まちづくり協議会と連携し、登下校時の児童の安全確保に努めた。

－反省点－

各活動にもっと多くの保護者（P T A会員）に参加していただきたかった。

－改善案－

全会員よりボランティアを募集したり、全会員を部員として専門部を編成するなど、P T A活動への意識を高めていきたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 天間小学校 会長名 渡邊 貴寿

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

・「わいわい 楽しく 仲良く」を P T A のテーマとし児童、保護者、地域のみなさまと様々な行事を遂行した。特に天間小学校の特徴である、「お米づくり」の事業は大勢の人々と田植えから始まり、稲刈り、収穫祭まで昨年度の2倍以上の人員の参加にて行われ、実りある一年でした。

・3校合同事業は本年度は鷹岡中学校主催にておこなわれた音楽コンサートのバックアップが出来た。また、例年行われている3校での「インディアカ大会」と「ファミリーバトミントン大会」にも多くの人員の参加が出来ました。（ファミリーバトミントン大会では、昨年度の5倍のチームの参加が出来ました）

### 取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

天間小学校の P T A の活動を「見える化」をするためにブログを始めました。ブログにて、様々な行事の告知を行う事で多くの人員参加が出来た。また、行事や会議の反省などもブログに載せることにより、次年度に活かせる活動が出来たと思う。

－反省点－

P T A 役員の人数構成に取り掛かるタイミングを間違え、本年度は多少の変更は出来たが、大きく根本的な改革が出来なかった。

－改善案－

毎月行われる定例会にて本年度の反省点（議題に上げるタイミングなど）を早めに行い、大きく変えなければいけない部分は時間をかけて協議し、遂行して理事会にまでに準備する必要がある。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校

会長名 笠井 俊幸

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ・古紙回収 年3回
- ・奉仕作業 年1回
- ・3校合同事業「地域が育てる岩松の子どもたちの会」（幹事校） 年2回
- ・親と子のつどい
- ・スポーツ親睦会
- ・通学路点検、パトロール
- ・梅まつり模擬店出店
- ・給食試食会
- ・子どもの安全を守る活動
- ・五団体合同教育講演会

取り組みの効果

1. (有)
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

奉仕作業では、校内の普段なかなかできない場所の清掃や植木の剪定、プールサイドの整備などを行った。子どもも参加して親子で共に汗を流す家庭もあり、活発な清掃活動を行うことができた。

3校合同事業として今年度幹事校として行った「地域が育てる岩松の子どもたちの会」は、岩松中学区の3校の教職員・PTA 役員だけでなく、地区在住市議会議員・生涯学習推進会・まちづくり協議会・まちづくりセンター・交通安全協会・子供会・交通指導員・民生児童委員・主任児童委員・保護司など様々な団体の参加を募り、子どもを地域で育てるという考えのもと、開催される会である。

第1回目は、教職員・PTA 役員・地域の方と共に、岩松地区の防犯・交通安全についての話し合いを行った。富士市教育委員会の野村指導主事の講話や、富士西交番長様の講話を伺い、通学路の危険箇所の共有化や、子どもたちの登下校時の見守りの重要性を再確認した。さらに、今年度起きた大きな交通事故についてみんなで考えることもできた。それが、夏休みに行われた教職員と保護者による通学路点検のよい視点となった。

本校独自の活動である「親と子のつどい」は、4年生の合唱披露に始まり、PTA、ジュニアリーダー、児童クラブの模擬店・バザーが行われた。また、けやき学習の一環として5・6年生各1クラス、特別支援学級の店も出店された。特に、けやき広場を利用した鱒のつかみ取り・串焼きの店は好評であった。子どもの笑顔のために、教職員と保護者が協力して準備に取り組むことで対話が生まれ、大変効果があった。また、第2回目の「地域が育てる岩松の子どもたちの会」と同時開催したことで、岩松北地区ではない方々にも「親と子のつどい」を知っていただくことができた。

様々な活動を通してPTAと教職員、地域がつながることで、さらに学校教育活動が円滑に行えるようになった。

－反省点－

古紙回収の回収量が年々減り、今年度も減収となっている。地区ごとに回収方法が違い、それを十分把握し切れていなかったのが課題である。PTA 行事で使用する物品の価格も高騰し、なかなかPTA 活動で収益を上げることができないのも難しい点である。

－改善案－

古紙回収の回収量を上げるために、地域への呼びかけや、回収場所の周知徹底を行う。来年度は、五団体合同教育講演会の幹事校であるため、さらに学校と地域をつなぐ行事となるように準備をしていきたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士中央小学校 会長名 清 淳也

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

・ 3役の組織改革

昨年度から計画していた3役の組織改革について実施段階に移すことができた。

取り組みの効果

1.  有      2.  無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 以前の部長選任を地区から選出してもらう方法から、副部長をP T A全会員の中から公募する形を原則として、それでも決まらない場合には、地区より選出する方法に変えた。

そのことにより、各部の実質的な責任者の部長は、2年目に就任することになり、1年目で何も分からないのに部長をやる負担が軽減されたと共に、より充実した部の運営ができることとなった。また地区以外の選出方法も導入したことで、広範囲から役員を希望する方を探すことができた。

—反省点—

- ・ 昨年度から引き続き話し合う機会が多くないため、P T A役員が全員納得のいく形で意思決定に携わったのかについては、疑問が残るといえる。

—改善案—

- ・ 役員のための懇親会などを多少は設けることで、役員同士のコミュニケーションを活性化して、お互いに信頼関係を更に深めていくことができると考える。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校

会長名 原田 真弓

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

保護者からの意見として、かねてより親子味噌作り教室に取り組んでみたい、吉原第二中学校では保護者のみのP T A活動のため、親子での活動に出来ないかという熱烈な要望が出ていた。

青葉台小学校の文化教養部と母親委員会のタッグで活動を実施した。

### 取り組みの効果

1. ④
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

#### —具体的な効果—

要望に応えるため、少しでも多くの方が参加出来るように調理室ではなく、体育館を会場とし、ブルーシートをひきテーブルを並べた。参加費はP T Aの負担金が大きくなると参加者が制限されてしまうため、お味噌の容器代と少しをP T A会費で負担し、残りの味噌代は参加者負担とした。

参加者が多かったため、講師の先生と相談し、二部制に分けて説明が行き届くように配慮した。既に中学校で経験していた保護者がいたので、初めて体験する方への言葉かけもみられた。

先生方にも参加していただき、普段の学校とは違う先生と交流できた。大豆をこねる子どもたちの熱心な姿や、親子でともに楽しむ光景もあり、充実した時間となった。

#### —反省点—

初めての取り組みだったが、好評で当日参加申し込みをする保護者もいた。定員いっぱいだったため、断らざるを得なかった。来年度の活動計画に生かしていくことを検討している。

#### —改善案—

体育館での開催だったので、子どもたちが走り回る行為もあり食品を扱うことへの注意が必要である。来年度の開催に向けての課題としたい。

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第一小学校 会長名 池谷慎一郎

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

・ふれあいフェスタ

地域を巻き込んで、全校児童・保護者・地域が一同に会しての行事である。

内容は、体育館内での有志・クラブ・部活動の発表の場や文化的なプレゼン。そしてバザーが行われた。晴天ならば、外で行う予定であった模擬店は、教室や廊下で行った。

一日を通して、大勢の地域・保護者・児童生徒らが参加し、大盛況の活動となった。

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

各部単独の活動ではなく、本校 PTA 全体の活動であったため、多数の参加者があった。さらに各部の部長や副部長らが協力しあうことで、役員同士のつながりが強まった。その場をきっかけに次年度の役員の橋渡しの場となった。

－反省点－

当日の天候で左右する内容なので、雨天時の対応がしっかりとしていないとばたばたと混乱してしまう。

電源の確保や人の流れの滞りなどの反省点があった。

－改善案－

上記のとおり

## 平成27年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 宇佐美 義人

---

平成27年度重点活動の具体的な取り組み内容（三校合同事業の内容等も記入）

- ① 親子自転車教室
- ② 「かけこみ110番の家」の登録依頼
- ③ 通学路点検・自転車点検
- ④ 親子科学遊び(富士川二中 PTA の協力)
- ⑤ 普通救命救急講習会・プール開放の監視協力
- ⑥ 登校時における交通指導

取り組みの効果

1. ① 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ① 主に低学年に交通ルールを周知できた
- ② 地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた
- ③ 通学路の危険箇所の確認ができた
- ④ 二中 PTA と協力し、親子で科学の不思議を体験した

－反省点－

- ・ PTA 活動に対する保護者のさらなる参加を呼びかけたい
- ・ かけこみ 110 番の家など、事業成果を児童や保護者に知ってもらうよう努力したい

－改善案－

- ・ 各事業の改善点や良かった点などから見直しを行い、次年度へつなげられるよう、情報交換の場をつくる